

## 平成 30 年度第 4 回公立大学法人公立諏訪東京理科大学教育研究審議会議事録

日 時 平成 31 年 2 月 8 日 (金) 15:30~16:40

場 所 6 号館 2 階第 1 会議室

出席者 河村議長、小越委員、松江委員、五味委員、木村委員、大島委員、市川委員、吉本委員、西沢委員、奥村委員、井中委員

(入江事務部長、牛山事務部次長、石黒総務課長、加藤教務・学生支援課長、荻原教務・学生支援課係長)

欠席者 伊藤委員、大崎委員、奥原委員

### [配付資料]

1. 公立諏訪東京理科大学 教員人事について(2018 年度) (資料 1)
2. 2019 年度予算について (資料 2)
3. 将来構想検討委員会設置要項 (資料 3)
4. 高等教育無償化に関する機関要件等への対応について (資料 4)
5. 公立諏訪東京理科大学と放送大学との間における単位互換に関する協定書(案) (資料 5)

### [前回議事録確認]

平成 30 年度第 3 回教育研究審議会議事録 (2018 年 10 月 5 日実施) について、議長、五味委員、西沢委員により内容を確認したことの報告があった。併せて、臨時に実施した同審議会議事録 (2018 年 12 月 18 日実施) について、議長、大島委員、奥村委員により内容を確認したことの報告があった。

### [議 事]

#### 1. 議長・学長挨拶

河村学長から、審議に先立ち退任に係わる挨拶があった。

#### 2. 会議内容

##### (1) 教員人事について

河村議長から、審議に先立ち本学教育職員の人事について、教員人事委員会で承認の後、教授会により再度承認を受け学長が決定し、理事会に報告するという一連の手続きについて説明があった。続いて、加藤教務・学生支援課長から資料 1 をもとに、2018 年度教員人事選考状況について、退職に伴う後任者採用及び昇任、特任教授採用状況の説明があった。このことについて吉本委員から教員人事を審議するにあたり、今後は設置基準上の必要教員数や現在の教員数等を資料に加え、現状を確認出来るようにするのが望ましいとの意見があった。審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 2019 年度予算（案）について

牛山事務部次長から資料 2 をもとに、既に策定された 2019 年度予算編成方針に基づき、2019 年度予算案を作成したこと、2018 年度予算である 1,895,970 千円に対し、2019 年度予算案では 2,572,226 千円を見込み 676,256 千円の増額であること、増額の主な理由として新 9 号館建設のため 433,232 千円を見込む等、全体の増減額内訳について説明があった。また、本予算案は 2 月 8 日（金）実施の経営審議会で承認され、2 月 20 日（水）実施予定の理事会において審議予定であること等について報告があった。

(3) 将来構想検討委員会について

加藤教務・学生支援課長から資料 3 をもとに、本学の中期目標に基づき、新学科構想を含む大学全体の将来構想案を作成することを目的として、2018 年 11 月 1 日付にて将来構想検討委員会を設置したこと、2018 年 11 月、2019 年 1 月に当該委員会を実施し、新学科構想だけでなく、本学の進むべき方向性等、様々な構想を検討していることについて報告があった。

(4) 高等教育無償化に関する機関要件等への対応について

加藤教務・学生支援課長から資料 4 をもとに、2020 年 4 月に向けて国が準備を進めている高等教育無償化制度について、支援対象となる大学に対しての文部科学省からは、【要件 1】実務経験のある教員による授業科目の配置、【要件 2】外部人材の理事への任命、【要件 3】厳格な成績管理の実施・公表、【要件 4】財務・経営情報の開示、という 4 要件が求められていることの説明があり、本学としては各要件ともに対応完了あるいは準備を進めており、すべて満たせる見通しであるとの報告があった。併せて、平成 30 年度本学奨学金等採用実績について説明があり、国の授業料減免及び給付型奨学金制度の実施により本学独自制度と支援対象者が重複すること、今後更に住民税非課税世帯等が増えることを見越し、実情に即した制度設計が必要であること等について報告があった。

(5) 放送大学との単位互換協定について

加藤教務・学生支援課長から資料 5 をもとに、本学が自ら開設すべき科目であっても開設できない科目がある現状を放送大学の授業科目の利用により解決を図るため、本学と放送大学との間における単位互換に関する協定準備を進めてきたこと、単位互換科目としては、「新しい時代の技術者倫理」、第 2 外国語不足を補うため「フランス語 I」「ドイツ語 I」、本学卒業後に教職課程を志す学生のため「日本国憲法」の 4 科目を選定したこと、本学を会場として 3 月 6 日（水）に放送大学との調印式を実施することについて報告があった。

## (6) 学長選考状況について

石黒総務課長から、2018年12月に臨時経営審議会及び臨時教育研究審議会を実施し学長選考会議委員が選出されたこと、2019年1月の第1回学長選考会議において議長選出及び学長候補者推薦依頼、今後の業務日程が承認され、同月第2回会議において、学長候補者1名を推薦し、2月13日(水)に教職員投票による意見聴取を行うこと、2月20日(水)の理事会審議を経て、新学長が決定すること等について報告があった。

## (7) 諸報告

### 1) 公立諏訪東京理科大学 2019年度一般入試志願状況について

加藤教務・学生支援課長から資料をもとに、国公立大学は2月6日(水)15時現在の志願者数を文部科学省に報告する義務があり、当該日時における志願者数について、前期日程は414名、中期日程881名であったこと、本学出願締切日は2月6日(水)17時であることから報告期限との時間差において、前期日程について30人程度、中期日程について40人程度の追加志願者があったこと等について報告があった。

### 2) 学生の資格取得支援について

加藤教務・学生支援課長から資料をもとに、今年度新設した学生への資格取得支援制度により、国家資格である「技術士」1次試験に4名の学生が合格したこと、またこれについて地元新聞により紹介されたことが報告された。なお、当該制度は、助成対象資格の受験者について交通費を含む受験費用の半額を助成し、合格者について受験費用の全額を助成する制度であることの説明があった。これについて五味委員より技術士は科学技術分野の技術者にとり権威が高い国家資格のひとつであること等の追加説明があった。

最後に、2019年度会議日程及び次回の教育研究審議会を2019年5月24日(金)に実施を予定していることが確認され、今回の議事録確認者として吉本委員、木村委員の2名を議長が指名した。

以上